

令和6年度 那須塩原市まち・ひと・しごと創生推進懇談会 会議要旨

開催日時 令和7(2025)年2月7日(金) 14時00分から15時24分まで

開催場所 那須塩原市図書館みるる 1階サクシードツグナラホール

出席委員 10名

欠席委員

那須塩原市 企画部長

事務局 那須塩原市 企画部企画政策課 5名

産業観光部農務畜産課 1名

1 開 会

2 あいさつ(企画部長)

- 当懇談会については、本市の総合戦略に基づく取組を進めていくにあたり、関係団体、有識者の委員の皆様からご意見をいただくために毎年度開催している。
- 地方創生については、国も予算を倍増して取組を強化としている。
- 地域のことはそれぞれの地域で考えなくてはいけないので、それぞれの立場や全体的なご意見をいただきたい。

3 会長及び副会長の選出【資料1】

- ・ 会 長 宇都宮共和大学 陣内 雄次氏
- ・ 副会長 西那須野商工会 大倉 多喜生氏

4 議事

- (1) 第2次総合戦略の取組について【資料2-1、2-2、2-3】
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業について【資料3】
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について【資料4-1、4-2】
- (4) その他【参考資料】

(次ページへ続く)

《委員からの主な意見》

・第2次総合戦略の進捗状況について

- 移住・定住の促進として、人はいつ亡くなるか分からないので市営霊園の拡充を検討してはどうか。
- 外国人の社会増が増えているが、外国人とどのようなスタンスで付き合っていくのかの政策は重要になると思う。共生を目指すのであれば、そこに向けた課題整理と対策が必要となる。

・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業について

- もっと、地域の特色を生かした道の駅を作り出し、更に人を呼べる施設にしてほしい。
- アグリパルのレジの混雑については、引き続き万引き対策との両立を考えながら改善を図っていく。
- 農産物については、少量多品目の状況なので、地域としての強みを作り出すと共に、商品となる農産物の安定供給に向けた取組を実施していく必要がある。
- 農産物の安定供給のために、担い手不足の対応も進めていく必要がある。
- 他県の事例でバイク神社を設置して人を呼び込んでいる事例もある。
- 競合が多いので、道の駅自体が目的地となるような施設づくりをしていく必要がある。
- インバウンド獲得に向けたPRが必要である。
- 道の駅だけでは点になってしまうので、那須塩原駅前等とつなげて線や面となるような取組をしていくと市全体が活性化される。

・地方創生臨時交付金事業について

- プレミアム付共通商品券事業は市民からも好評なので是非実行してほしい。

5 その他

- 地域のイベントは企画段階から子供達を巻き込んで実施していく方針である。
- 商工会でも実施しているが、新しい創業支援の取組を積極的に実施していただきたい。
- 地域でお祭りを開催するにあたり、子供達が職業を体験できるような形に変えようと言った工夫をしている。お祭りの予算は増やして欲しい。
- 若者の定着には、小中高校生の頃にどれだけ豊かな体験ができたのかが重要である。
- 政策として、小中高校生のやりたいことを後押ししてあげることで、若者が地域に定着する確率を上げられる可能性がある。

6 閉 会（15時24分）